

<資料提供>  
 令和8年6月24日(水)  
 自然環境課 西出 久範  
 TEL:225-1475 (内) 4260

# ツキノワグマのエサ資源調査（雄花の落下数調査）結果

## 1 調査概要

- (1) 調査時期 4月下旬～6月上旬
- (2) 調査地点 南加賀地域～中能登地域において、ブナ、ミズナラ、コナラ各約20か所ずつ
- (3) 調査内容 1調査地点5か所で、50cm四方の雄花の落下数を調査し、 $m^2$ 当たり落下数平均を算出、判定基準により豊凶を判定

<樹種別豊凶判定基準（県林業試験場の研究結果による）>

樹種	大凶作 ×	凶作 ▲	並作 ○	豊作 ◎	大豊作 ◎◎
ブナ	30未満	30～200	200～900	900～1,700	1,700以上
ミズナラ	50未満	50～200	200～300	300～500	500以上
コナラ	50未満	50～200	200～1,000	1,000～1,900	1,900以上



ブナ



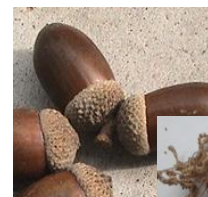
(雄花)



ミズナラ



(雄花)



コナラ



(雄花)

## 2 調査結果

### ブナ、ミズナラ、コナラとも豊作の予測

樹種	予測	雄花落下数 平均値 (個/ $m^2$ )	調査地点	内 訳				
				大凶作 ×	凶作 ▲	並作 ○	豊作 ◎	大豊作 ◎◎
ブナ	◎豊作 (R7: ×大凶作) (R6: ▲凶作)	1,137 (9) (159)	21	0	0	11	8	2
			(22)	(20)	(2)	(0)	(0)	(0)
			(22)	(9)	(8)	(5)	(0)	(0)
ミズナラ	◎豊作 (R7: ◎豊作) (R6: ◎豊作)	434 (413) (458)	19	3	5	2	3	6
			(19)	(0)	(4)	(5)	(5)	(5)
			(18)	(1)	(5)	(5)	(2)	(5)
コナラ	◎豊作 (R7: ○並作) (R6: ○並作)	1,228 (797) (872)	20	0	0	5	14	1
			(28)	(0)	(1)	(19)	(7)	(1)
			(27)	(0)	(2)	(17)	(6)	(2)

■雄花の落下数調査の結果、現時点では、今年の秋は、クマのエサとなるブナ等の実は不足しない見込み。

■8月に実のなり具合を確認する「着果状況調査」を行い、再度、ブナ等の豊凶を見込み、秋以降のクマの大量出没の可能性を予測する。

## (参考) クマによる人身被害防止対策の徹底

■人身被害 6月17日に小松市内で1件発生(令和6年10月以来)

■目撃 6月17日時点では112件で過去2番目の多さ

■専門家意見

6月、7月は繁殖期でオスがメスを求め活発に動き回り、また、親離れの時期でもあり、親離れした若いクマが生活の場を求め広範囲に動き回るため、人里でのクマの出没が増える可能性がある。

→ クマの目撃件数(6月17日時点)

区分	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
1~4月	8件	11件	27件	13件	9件	17件	11件
5月	48件	37件	57件 過去2番目	29件	40件	30件	59件 過去最多
6/1~17	52件	43件	39件	25件	63件	60件	42件
合計	108件	91件	123件 過去最多	67件	112件 過去2番目	107件	112件 過去2番目

**ツキノワグマ出没注意情報を発令(6/17)し、以下の被害防止対策の徹底を呼びかけ。**

### 被害防止対策

- クマの活動が活発になる早朝、夕方及び夜間における山林近くでの散歩やジョギングを控えてください。
- クマはエサを求めて人里周辺に接近します。ペットフードや生ゴミを放置しない、ハチの巣を除去するなど、クマの誘引物の除去を徹底してください。
- クマは河川敷などの草むらに隠れて移動するため、集落に隣接する草むらの刈り払いを行うようにしてください。
- 溪流釣りや山仕事などで山林に入る場合は、2人以上で行動し、鈴やラジオを携行してクマに自分の存在を知らせるなど、十分な安全対策を行ってください。
- クマと遭遇したら、大声を出さず、クマの動きに注意しながら、ゆっくりと後退してください。